

BASFテクニカルシート

BASF
We create chemistry

分野: 芝生管理(芝生用殺菌剤)

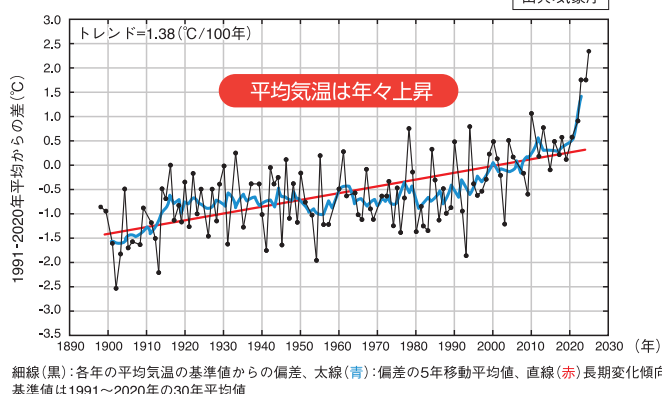
製品: マックスティーマフロアブル(500ml×10本)

夏越しを支える高安全性殺菌剤 マックスティーマ® フロアブル

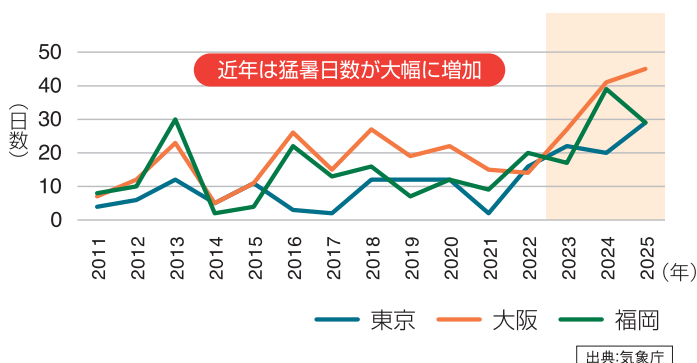
日本の夏季平均気温は長期的に上昇しており、近年、2023年、2024年、2025年には観測史上最高水準の高温を記録しています。また、日本の夏(6~8月)の平均気温は、100年あたり約1.38℃の割合で上昇しています。さらに、2023年以降は7月、8月だけでなく9月も高温傾向が続いており、ベントグラスの夏越し管理では、薬剤散布時の芝生安全性がこれまで以上に重要になっています。

特に、ベントグラスは高温ストレスの影響を受けやすいため、病害を防除すると同時に、薬剤散布によるストレスを最小限に抑えることが重要です。こうした背景から、高い防除効果と優れた芝生安全性を兼ね備えた殺菌剤が求められています。

日本の夏季平均気温差



猛暑日数(2011年~2025年) 猛暑日:最高気温35℃以上



マックスティーマ® フロアブルの特長

- 従来のDMIとは異なり、高温条件下でもベントグラスへの高い安全性を確保。
- バーミューダグラスにも高い安全性。

【試験事例まとめ】(2023年、2024年実施)

ベントグラスに対する安全性試験

薬害試験(2023年)					
品種	薬量 (ml/m ²)	水量 (ml/m ²)	散布日 (2023)	調査日	薬害
L-93 (鹿児島県)	1 (2倍量)	100	5/24 (25.3℃)	6/15~ 6/28	薬害 なし
	2 (4倍量)	100			
	4 (8倍量)	100			
ベंकロス (千葉県)	1 (2倍量)	200	7/24 (32.3℃)	7/27~ 9/20	薬害 なし
	2 (4倍量)	400			
	5 (10倍量)	1000			
ベंकロス (千葉県)	1 (2倍量)	200	9/11 (31.4℃)	9/20~ 11/20	薬害 なし
	2 (4倍量)	400			
	5 (10倍量)	1000			
007 (鹿児島県)	1 (2倍量)	100	9/13 (29.3℃)	9/15~ 10/17	薬害 なし
	2 (4倍量)	100			
	5 (10倍量)	100			

薬害試験(2024年)					
品種	薬量 (ml/m ²)	水量 (ml/m ²)	散布日 (2024)	調査日	薬害
L-93XD (鹿児島県)	2 (4倍量)	500	6/1 (27.0℃)	6/8~ 6/26	薬害 なし
	5 (10倍量)	500			
	2 (4倍量)	100			
ベंकロス (千葉県)	2 (4倍量)	100	7/31 (32.8℃)	8/5~ 9/18	薬害 なし
	5 (10倍量)	100			
	2 (4倍量)	100	9/18 (34.3℃)	9/25~ 10/30	薬害 なし
ベंकロス (千葉県)	5 (10倍量)	100			
	2 (4倍量)	100			

※日付下最高気温: 気温は試験地最寄りアメダス観測値を使用

- * ベントグラス複数品種で薬害なし。
- * 夏季高温期の過酷条件下でも薬害がないことを確認した。

【 試験事例 】

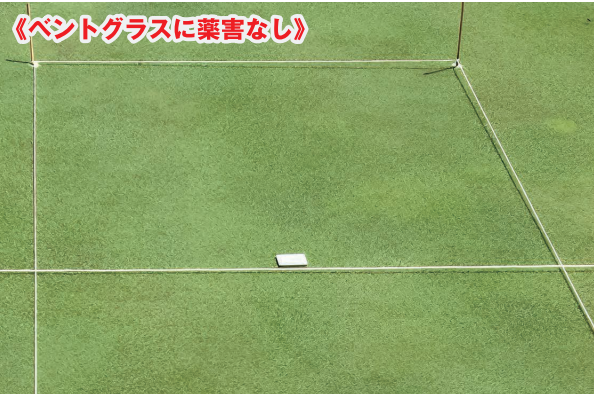
■ 薬害試験(DMI系殺菌剤比較) ベントグラスに対する夏季高温期の4倍量・10倍量過酷試験

試験場所:千葉県内試験圃場 芝種:ベントグラス(ペंकロス)
薬剤処理日:2025年7月25日 AM9:00-11:00 天候:晴れ(最高気温:34.7℃)

薬剤	薬量 (ml/m ²)	水量 (ml/m ²)	ベントグラスに対する薬害(－,±,+,++,+++,×)					薬害症状
			8/1	8/8	8/22	9/9	9/17	
マックスティーマ® フロアブル	2(4倍量)	100	－	－	－	－	－	薬害なし
	5(10倍量)	100	－	－	－	－	－	
A剤(DMI)	2(4倍量)	100	+	++	+	+	+	葉枯れ、生育抑制
	5(10倍量)	100	+	++	+	+	+	
B剤(DMI)	0.5(4倍量)	100	－	－	－	－	－	葉の褐変、生育抑制
	1.25(10倍量)	100	+	+	+	+	+	
C剤(DMI)	4(4倍量)	500	+	+	+	+	+	葉の褐変、生育抑制
	10(10倍量)	500	+	+~++	++	+~++	+~++	
ザンプロターフ (弊社ピシウム剤)	2(4倍量)	100	－	－	－	－	－	薬害なし
	5(10倍量)	100	－	－	－	－	－	

※薬害評価「－」:なし 「±」:微 「+」:小 「++」:中 「+++」:大 「×」:甚大

■ マックスティーマフロアブル処理区(4倍量)



■ A剤処理区(DMI系殺菌剤)(4倍量)



- * 夏季高温期の過酷条件下でも薬害がないことを確認した。
- * DMI系殺菌剤比較においても優れた芝生安全性を示した。

■ 薬害試験 バーミューダグラスに対する4倍量・8倍量過酷試験

試験場所:群馬県内ゴルフ場ナセリー 芝種:バーミューダグラス(ティフイーグル)
薬剤処理日:2023年4月20日 6月6日

薬剤	薬量 (ml/m ²)	水量 (ml/m ²)	倍率	処理回数	処理日	バーミューダグラスに対する薬害						
						4/27	5/10	6/6	6/13	7/5	8/10	9/28
マックスティーマ® フロアブル	1(2倍量)	100	100	2	4/20 (28.3℃) 6/6 (27.2℃)	－	－	－	－	－	－	－
	2(4倍量)		50			－	－	－	－	－	－	－
	4(8倍量)		25			－	－	－	－	－	－	－
	1(2倍量)		100	1	6/6 (27.2℃)				－	－	－	－
	2(4倍量)		50						－	－	－	－
	4(8倍量)		25						－	－	－	－

※薬害評価「－」:なし 「±」:微 「+」:小 「++」:中 「+++」:大 「×」:甚大

- * マックスティーマ® フロアブルは、バーミューダグラスへの薬害も認められず、高い安全性を示す殺菌剤であることを確認した。

※本試験は芝生安全性評価を目的として、登録薬量を上回る条件で実施した過酷試験です。実際の使用にあたっては、必ず農業ラベルに記載された使用方法および使用基準に従ってください。

マックスティーマ® フロアブルの
製品情報はここから